

土木部現場見学会(8月3日)に参加して

桜井高校土木部1年 中原 実紅

私は、土木部の一員として遠足に行ってきました。生活環境科の私にとっては難しいことや初めて知ることがすごくたくさんあり勉強になりました。最初に宇奈月ダムを見学しました。地上から50m下までエレベーターで1分間かけて下りてダムの内部に入りました。ダムの内部はとても涼しく、半そでではすこし寒いくらいでした。そしてダムのしくみや使われている石など、たくさんのことについて説明していただきました。そのなかでもダムが外気温によって動いているという話に一番驚きました。冬と夏では8mmほど変動しているそうです。ダムには人々の生活を守るための大切なはたらきがたくさんあることを知りました。巨大なコンクリートのかたまりに見えるダムですが、私たちの安全のための機能が備わっていて現代の暮らしには欠かせないものだと思いました。日々洪水にあうことなく電気や水道水を使えていることに感謝しようと思います。専門的な話が多く、わからないところもたくさんあったのですが、ダムの内部が迷路みたいで探検気分でした。あと階段が急でこわかったです。

次に黒部川を下るようなかたちで愛本床止工などを見てまわりました。宇奈月ダムより難しい話であまりわかっていないところもありますがとにかく大事なものだということは伝わってきました。

土木部に入らなかったら知ることができなかつたであろう土木の世界を知ることができました。この遠足で学んだことを今後の部活動に活かしていけたらいいなと思います。